診療科(部)名:小児歯科

第3期中期目標・中期計画期間中の臨床研究テーマについて該当するものにチェックを入れてください。(塗りつぶし可)

- □1. 口腔領域における新規組織再生・再建法の開発
- □2. 高齢者の特性に配慮した口腔疾患の予防法・診断法・治療法の開発
- ☑3. 顎口腔機能の維持増進に関する研究
- □4. 歯科医学臨床教育の質保証に関する研究
- □5. その他

研究期間:平成29年~

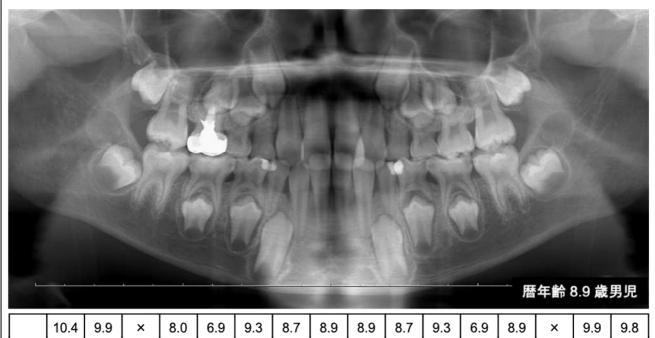
研究課題名:日本人小児における歯年齢に関する調査

研究課題の概要及び成果:小児歯科の臨床において、暦年齢と歯年齢を比較することは、小児の口腔の成長と発達を診査する上で重要である。しかし、現在用いられている歯年齢の基準には、欧米人のデータを元に作成されたものしかない。そこで、本研究では、日本人小児における暦年齢と永久歯の発育段階を検討することとした。大阪大学歯学部附属病院小児歯科と大阪府下の3歯科医院を受診した小児のうち、2019年より過去10年間においてパノラマエックス線写真撮影を行った3歳から18歳の日本人、各年齢男女32名ずつの合計1024名を対象とした。Haavikko(1970)の方法をもとに歯の発育段階を11ステージに分類し(図1)、パノラマエックス線画像から上下顎32歯種ごとの発育段階を評価し、各歯種における発育段階別平均年齢と年齢別発育段階(中央値)を算出した。その結果、日本人の永久歯の発育を分析するために必要な最新の画像データを、年齢別、性別に大量に収集することで、現代における日本人の歯年齢の算出方法を確立することができた(図2)。今後、小児歯科臨床において、この歯年齢の算出方法を応用して、永久歯の発育段階を診査し、口腔の成長と発達の状態を正確に診断することによって、健全な永久歯列の育成に役立てたいと考えている。

上記概要・成果に関連する図表等

発育段階	歯胚	石灰化		歯冠刑	/ 成期	-		根尖			
	形成期 O	開始期 Ci	開始期 Cco	1/2期 Cr1/2	3/4 期 Cr3/4	完成期 Crc	1/4 期 R1/4	1/2 期 R1/2	3/4 期 R3/4	完成期 Rc	閉鎖期 Ac
前歯·小臼歯				0	\Diamond	8	\bigcirc				
大臼歯			~~		\approx			A			A

図1 各永久歯における歯胚の発育段階の分類



	10.4	9.9	×	8.0	6.9	9.3	8.7	8.9	8.9	8.7	9.3	6.9	8.9	×	9.9	9.8
発育 段階	Ci	R1/4	Ac	Crc	Crc	R1/2	R3/4	Rc	Rc	R3/4	R1/2	Crc	R1/4	Ac	R1/4	0
歯式	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
発育 段階	0	Crc	Rc	R1/4	R1/2	R1/2	Rc	Rc	Rc	Rc	R1/2	R1/2	R1/4	Rc	Crc	0
	10.0	8.6	8.3	8.9	8.9	9.0	8.7	7.9	7.9	8.7	9.0	8.9	8.9	8.3	8.6	10.0

全顎的な歯年齢 = 8.8 ± 0.8 (歳) ×:対応する歯年齢なし

図2 パノラマエックス線画像を用いて行う歯年齢算出方法の一例

当該臨床研究が「ロの難病プロジェクト」に関連しているか否か下記のBOXのいずれか にチェックを付してください。(塗りつぶし可)

- □ 関連がある
- ☑ 関連はない